

令和7年度

スギ人工林の再造林・広葉樹林化に関する研究－早生樹センダンの生理学的研究－

【神戸大学 森林資源学研究室（連携課：林産振興課）】

研究の目的（背景・課題・意義）

地球温暖化防止のためCO₂の吸収、固定、国土・生態系の保全の観点から、収穫期に達した成熟林を活用し、森林の持つ公益的機能を持続させる研究を目的とする。

研究内容・主な実施計画

- スギ人工林の資源量・炭素蓄積量の調査・把握
- スギ人工林の伐採後における持続可能な森林資源の検討
 - ※早生樹を中心とした持続可能な再造林方法の検討
 - ※社会経済活動と林業の生産周期を一致させる
 - ※多様な広葉樹を植栽し、ネイチャーファースト（生物多様性）に貢献する
 - ※シカ食害に対する造林木（早生樹）の生育状況調査
 - ※温暖化に適応した造林木（早生樹）の研究（高温耐性実験の実施）



• 収穫期に達した成熟林（スギ人工林）



• 再造林及び食害対策